



# 嚶鳴同窓会報

編集発行所  
990 山形市鉄砲町一丁目  
15-64  
山形県立山形西高等学校  
嚶鳴同窓会  
電話 41-3504  
振替山形 5-995番

## みなさまのご協力に感謝して

### 同窓会の発展を願いつつ

嚶鳴同窓会長 相沢 栄



六月と申しますと母校の創立記念の月でございます。二十五日は九十二年の記念式に参列させていただきます、その後恒例の校内合唱コンクールが県民会館大ホールで行われました。一年生から三年生まで二十一学級が、限られた二週間の練習期間で仕上げた課題曲と自由曲を、何れ劣らず堂々と歌い上げました。



同窓会員のみなさまには、母校のために日頃ご支援を賜り、感謝と御礼を申し上げます。

今春の人事異動により、横田光正前校長の後任として重責を担うことになりました。もとより浅学非才の身ではありますが、西高発展のために微力を尽くす所存でありますので、よろしくご鞭撻の程をお願い申し上げます。

着任以来三ヶ月余、素質に恵まれた生徒諸君と熱心な教職員が一体となつて、学習・部活・行事・

特別賞の中には同窓会杯もあり、「クラス全員が協力して美しいハーモニイをつくりあげた」級への賞でございます。年に一度の素晴らしい歌声を聞けますことは、誠に楽しい、意義あるものでございました。今年こそ西高合唱団が全国大会では金賞を獲って貰いたいものと祈つてやみません。

次に、同窓会の名簿は十年に一度作るようになっておりますが、来年がその年になっております。これは大変な仕事でございますので、懸案であった名簿出版社に依頼することに決まりました。幸い

その他の諸活動に取り組んでいる様子を見てまいりましたが、いろいろな場面で嚶鳴精神健在なりとの実感をいたしております。切磋琢磨の伝統が、今春のすばらしい進学成績をもたらししたのと思えます。今後は更なる飛躍のためにいっそう努力をしなければと決意をしております。

## ご挨拶

学校長 沼澤 豊

現在、第三校舎改築中で、秋には普通教室・特別教室・多目的教室等を有する三階建の立派な施設が完成します。第二校舎解体後は跡地に同窓会館の建設が予定されておりますが、おかげさまで資金計画も順調に進み、設計に入ると

ところで、現代の青年達は必ずしも正当に評価されていないのではないかと思われまふ。無気力・無感動・無関心・無責任を四無主義などと言いましたが、批判・能力・作法・節操・定見・思想などあらゆる徳目の上に無を冠すれば



米寿・喜寿の皆さま

## 平成元年 同窓会総会

平成元年11月5日、嚶鳴同窓会総会が山形市のグラウンド・ホテルで開催されました。11月に入り廣寒い日が続き、又、開会を10時と、いつもより早めたせいもあり、出席者の出足を心配致しましたが、だんだんと空も明るく、気候も暖かくなり、会場も四〇〇名以上の

暗くなった会場の入口より、スポットに照らされて来賓入場。なつかしい恩師、校長先生をはじめ現在の先生方、東京支部の代表の方、米寿(3名)、喜寿(38名)の方々の入場。今年の10年勤続職員は、校内理事として総務を担当される、鈴木雅子先生。感謝状贈呈のあと、「教えることの楽しさを、西校で得ることが出来た」とのすばらしいお言葉を頂戴しました。

初めに、稲村ハナ子副会長の、熱気にあふれた先立つて行われた東京支部総会のお話を含めた開会の挨拶。それから相沢栄会長の挨拶と続きました。その中で田中吉也元校長がお亡くなりになった知らせがあり、全員でご冥福を祈り、願ひ申し上げます。

最後に、須貝綾子さん(当番学年)の指揮、佐藤尚美さん(昭和55年卒)のピアノ伴奏で、校歌を斉唱し、来年の総会でお会いすることを約束し、閉会となりました。平成元年という新しい年。又、

現代の青年像を示すまで言われています。なるほどそれぞれの傾向をとらえていてうなずける点もありませんが、一律に決めつけられるは青年達も立つ瀬がないというものです。私は高校現場で、あるいは社会教育の場や地域の文化活動の場で、多くの若者達と接してきましたが、大人が考えているほ

これは、丁度20年前、私共が總會当番の時初めてアンケートを行いました。その資料をもとに、東北大学名誉教授の塚本哲人先生の、ご助言をいただき、パネルディスプレイを致しました後、今回で3回目になるアンケートです。20年経っても変わらない質問、又、時の流れと共に、消え去って行く質問等、時代の変遷を感じます。又この資料をまとめて、嚶鳴同窓会発行の、立派な本を作る事が出来、当番一同、感激しております。アンケートの中より、女性の老後に



米寿の方のご挨拶





# 平成2年度 嚶鳴同窓会東京支部総会開催!



心のために出席されたというお言葉は、他クラスの同窓生の胸をも打つあたたいお言葉であった。いつまでも少女のような本部会長相沢栄様、十八年前から少しも変わらぬ美貌の、恩師であり本部役員でもある木村洋子先生のハツラツとした御祝辞の後、いよいよアトラクションへと幕は進んだ。

本日7月8日。梅雨の晴れ間の日曜日、宛名の同窓生が一堂に会した。当番学年の不行届きは御容赦あり。会は進行、脱線、不行届きは御容赦あり。御来賓の沼澤豊校長は、数々の戯曲を世に出された演劇人の一人でもある。校長は祝辞の中で現在の西高生の活動状況をお話して下さいました。当日放映された西高生徒の活躍のビデオも校長自ら製作された作品である。当時独身で女生徒のあこがれの的だった恩師鈴木宏毅先生は、西高生徒の、女性という枠にはまらないエネルギー溢れるパワーに圧倒され、続けていたとおっしゃり、そのパワーがあればこそ、総会も華やかに持たされたに違いないと挨拶された。

終わりの先生、上下もなすピーチ「始まりもい平等の、犯しがたい和の形」を、これをクラスのスローガンに選んだ。先生にとっても生涯たった一度担任された一年五組の生徒達の

この普通の絆を年に一度感じる場があることは素敵なことだ。(昭和48年西高卒 渡辺えり子記)

昭和二十八年三月卒業した私達、第一回の同期会を始めたのは、卒業後十六年も経過した昭和四十四年のことでした。スフ(化繊)のスカートに、三つあみのおさげ髪、音楽室でG線上のアリアを弾いていた乙女、フラスコをいじっていた解析好きの生徒も、それぞれに社会人となり、育児からもようやく解放された頃だったと思います。

二十八卒ということでは、ふたば、植物のいのちの始まりの意味をこめて「ふたば会」が発足、会長には染谷優子氏を選任しました。スタートから四年間は、毎年例会が行われましたが、四回目より隔年開催をきめ、四クラスを順次割り当て、会を運営して参

## ふたば会だより

今、第十三回ふたば会は、二組が当番となり、上山・高松葉山温泉の三木屋において三十名程の集まりをしました。東京・埼玉・秋田と点在している仲間が集いあい、タイムカプセルの中の自分を発見するよこびと、青春のひとときを共有した者もつ、解放感と連帯感を味わいながら、時の経つのも忘れて、しゃべり、飲み、歌いました。残念ながら、ここ数年で五名の仲間を失いました。ありし日の方々を偲び、全員で黙禱を捧げました。



(報告 菅野 節子)

梅雨明けんとして、水を含んだ木々や若葉はした、る様な翠である。わがクラスも何時々々々までも若やかに水々しくある様にとの希いをこめて皆んなで翠会と名づけよう半世紀を超えている。今尚ほしく年々回りにて親睦の集いを持っている。今年のは、村亭にて私共が当番幹事。七月二十一日時から昼食を囲んで一年振りの再会である。ふと、岡田先生とか富沢先生等の優しく美しいその頃の儘のお顔が浮ぶ。岡先生が素敵なお声でシェーベルトの野ばらを歌って下さったこと、土橋先生方につれられて上の山の窪手にスキーに行つて雪煙りを上げながら滑ってはお楽しんだ。又笹川先生の音楽の折(家政科時代)名曲鑑賞をさせて頂いた、き菩提樹や冬の旅に感銘を受けたこと...。盃を傾け乍ら次々と想起する数々の過ぎし日の映像が眼

底を去る...。当番として皆さんに一献つき廻りつ、一人一人と思出の花を築く。若かりし日の学びの園に還り、心をそのころに遊ばせる。五十年間はもう何処かに飛んで了っている。チャ子さんの心尽しにして丹精こめられた美味なお料理が次々と運ばれ、鉄線の蒔絵の膳が美しい。秋田の三浦雪子さんから皆さんへと土地の銘菓がどく。田中写真館に(田中キヨさんの御実家)来ていた、き記念の写写真も撮る。話は尽きぬま、三時半を過ぎる。次のパトナツチをし、来年末までの名残りを惜しみつつ、無事の再会を祈り閉会とする。嚶鳴同窓会第一高女三十二回生 野々村チャ子 ◎佐藤しま

## わがクラス会

今、第十三回ふたば会は、二組が当番となり、上山・高松葉山温泉の三木屋において三十名程の集まりをしました。東京・埼玉・秋田と点在している仲間が集いあい、タイムカプセルの中の自分を発見するよこびと、青春のひとときを共有した者もつ、解放感と連帯感を味わいながら、時の経つのも忘れて、しゃべり、飲み、歌いました。残念ながら、ここ数年で五名の仲間を失いました。ありし日の方々を偲び、全員で黙禱を捧げました。

梅雨明けんとして、水を含んだ木々や若葉はした、る様な翠である。わがクラスも何時々々々までも若やかに水々しくある様にとの希いをこめて皆んなで翠会と名づけよう半世紀を超えている。今尚ほしく年々回りにて親睦の集いを持っている。今年のは、村亭にて私共が当番幹事。七月二十一日時から昼食を囲んで一年振りの再会である。ふと、岡田先生とか富沢先生等の優しく美しいその頃の儘のお顔が浮ぶ。岡先生が素敵なお声でシェーベルトの野ばらを歌って下さったこと、土橋先生方につれられて上の山の窪手にスキーに行つて雪煙りを上げながら滑ってはお楽しんだ。又笹川先生の音楽の折(家政科時代)名曲鑑賞をさせて頂いた、き菩提樹や冬の旅に感銘を受けたこと...。盃を傾け乍ら次々と想起する数々の過ぎし日の映像が眼

底を去る...。当番として皆さんに一献つき廻りつ、一人一人と思出の花を築く。若かりし日の学びの園に還り、心をそのころに遊ばせる。五十年間はもう何処かに飛んで了っている。チャ子さんの心尽しにして丹精こめられた美味なお料理が次々と運ばれ、鉄線の蒔絵の膳が美しい。秋田の三浦雪子さんから皆さんへと土地の銘菓がどく。田中写真館に(田中キヨさんの御実家)来ていた、き記念の写写真も撮る。話は尽きぬま、三時半を過ぎる。次のパトナツチをし、来年末までの名残りを惜しみつつ、無事の再会を祈り閉会とする。嚶鳴同窓会第一高女三十二回生 野々村チャ子 ◎佐藤しま

底を去る...。当番として皆さんに一献つき廻りつ、一人一人と思出の花を築く。若かりし日の学びの園に還り、心をそのころに遊ばせる。五十年間はもう何処かに飛んで了っている。チャ子さんの心尽しにして丹精こめられた美味なお料理が次々と運ばれ、鉄線の蒔絵の膳が美しい。秋田の三浦雪子さんから皆さんへと土地の銘菓がどく。田中写真館に(田中キヨさんの御実家)来ていた、き記念の写写真も撮る。話は尽きぬま、三時半を過ぎる。次のパトナツチをし、来年末までの名残りを惜しみつつ、無事の再会を祈り閉会とする。嚶鳴同窓会第一高女三十二回生 野々村チャ子 ◎佐藤しま



平成2年度 嚶鳴同窓会東京支部総会

会員の出版物  
ご寄贈の紹介  
「刺子の研究」 徳永 幾久 (昭12高女卒)  
「女の山歩き・山登り」 小倉 薫子 (昭26南高卒)  
ありがとうございました。

平成2年度 総会  
11月4日  
会場 オーナマホテル  
3,500円

寒河江支部 総会のお知らせ  
とき：9月30日  
担当：大江・朝日地区  
場所：朝日自然館  
皆様お誘い合わせの上、是非おいで下さい。

去る6月4日、クラス会で集まられた一九会(昭和19年入学)の方々35名が、本校を訪問されました。香澄町校舎焼失直後に入学なさった皆様ですが、このたびは大きな花束をお持ち下さったの母校訪問でした。

拝啓  
先日学校見学の申込に對して快くお引受け下さい、ありがとうございました。始に申込みました人数より多くなってしまい、大変ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。思いがけず音楽の授業参観を御

山形に居ても仲々見学させて頂く機会がありません。東京方面からいらつしやう大勢の方々にも良い企画を作ってくれたと感謝されてしまいました。本当にありがとうございました。思い出になりました。

皆様は、校舎や資料館内をしばしば見学なさつてお帰りになりましたが、後日、クラス会当番代表の武田正子様より大変心なごもったお手紙を頂戴いたしましたので、ここに紹介申し上げます。

川崎に生徒動員で行かれ、亡くなられた田中先生と先輩の遺影に涙ぐんでしまいました。田中先生は二組の担任の先生

最後にになりましたが、教頭先生、嚶鳴同窓会事務局の方々、お世話になりました。お礼申し上げます。 敬具

慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 鬼籍簿

- |        |           |
|--------|-----------|
| 菅沼 とき  | 大11高女     |
| 佐藤 マサ  | 昭7高女      |
| 結城 ちよ  | 昭14女師二    |
| 伊藤 淑子  | 大12実科     |
| 村上美智子  | 昭31西高     |
| 揚妻 サダ  | 大12実科     |
| 大築 リン  | 昭3女師二・4専  |
| 加藤 ヤス  | 昭6高女      |
| 岩井 蔵   | 昭9女師本     |
| 金沢 美奈  | 大9女師本     |
| 菅野 久与  | 昭17年高女    |
| 松本 琴子  | 大9高女      |
| 伊豆田カネ  | 大15女師・昭3専 |
| 梁田 千代  | 大12高女     |
| 佐藤 千代  | 明39高女     |
| 佐藤 さだ  | 昭13女師二    |
| 中村 愛子  | 大13高女     |
| 結城 よね  | 昭29南高     |
| 佐藤 ふみ  | 昭2高女      |
| 斎藤 とき  | 昭2女師本     |
| 秋山 英   | 大15高女     |
| 坂 マツ   | 大9女師本     |
| 沖津 カネ  | 大9女師本     |
| 加藤 とめ  | 大8女師本     |
| 水口 久子  | 大12高女     |
| 菅原 於り  | 昭9女師本     |
| 佐田由紀子  | 昭46西高     |
| 横戸 三ヤ  | 昭9高女      |
| 藤井 フサ  | 昭4高女      |
| 鈴木 知子  | 昭5高女      |
| 青沼 真沙  | 昭17高女     |
| 矢部 智佳子 | 昭40西高     |
| 阿部 美代  | 昭5女師本     |
| 武田 清   | 昭7高女      |
| 志田 雅子  | 昭32西高     |
| 工藤みどり  | 大7高女      |
| 池野 昭子  | 昭20高女4    |
| 佐藤 真   | 昭5高女      |
| 保科 志う  | 昭5女師二・6専  |
| 弟月 ちよ  | 昭5女師二     |
| 丹野 昭子  | 昭23高女4    |
| 田中 吉也  | 元校長 (敬称略) |



職員動向

平成2年度は、同窓会活動に特にご尽力下さいました横田校長・鈴木先生のご退職を始め、次の方々の異動がありました。

- 退職: 横田 光正(校長) 寒河江高へ、鈴木 雅子(理科) 寒河江高へ
(転入): 沼沢 豊(校長) 県教委より、古瀬源三郎(事務局長) 知事部局より

- 伊藤 光弥(理科) 谷地高より、木村 洋子(理科) 寒河江高より、高橋美智子(英語) 酒田東高より、高井 伸一(理科) 県教委より

- 松田 明(数学) 山形工業より、関野 和枝(保健) 横岡高より、後藤 憲昭(国語) 寒河江高より、渡辺真理子(保健) 新採、白田 伊織(英語) 新採



このたびの会報発行にあたって、鈴木先生より、西高を去られてからの暮らしや、同窓会の思い出などを綴られた原稿を寄せていただきました。

雑感

鈴木雅子

月日の過ぎるのは早いもので、私が西高に赴任したのは今から十年前、高校卒業後二十七年振りの母校でした。

思えば汽車による通勤、仕事として家では三人の子供(実際は母に育ててもらったようなものです)が、に夢中で、同窓会までは私の頭もまわりませんでした。そんな私でしたので、最後は母校で、転勤させられたのかもしれない。赴任するとすぐ総会の準備に大宮先生と何回となく寒河江に出掛けました。初めてお会いしたのに、何回もお会いしていたような感じでした。これが同窓生と言ったものかしらと思いました。大宮先生、木口先生、そして私へ、と仕事に引継ぎました。会を更に発展させることはできませんでしたが、創立九十周年記念事業も大過なく無事成すことができました。これも、正副会長さんをはじめ評議員、会員の皆様のご協力あっての事と心より深く感謝申し上げます。

後輩たちの活躍 平成元年度部活動報告

- バスケットボール部: 県高校総体 第三位、NHK杯 第三位
卓球部: 地区高校総体 第三位、地区新人戦 第三位
ソフトボール部: 地区新人戦 第三位
剣道部: 地区高校総体 第三位、地区新人戦 第三位
音楽部: 地区新人戦 第一位、NHK合唱コンクール県大会金賞

校内合唱コンクール

- 優勝 三年四組、課題曲B「さよならの季節に」
自由曲「愛の河より」誕生
準優勝 二年三組、課題曲B「さよならの季節に」
自由曲「消えた八月」

恩師訪問記

仏跡を歩く前田春治先生を訪ねて



街が紫陽花色の六月のある日、先生をお訪ねした。シルクロードの子どもたちの素描展会場で、ハルジャンブルー(春治先生のあだ名)のシルクロードのぬけのブルのシルクロードのぬけるような空と先生のお人柄を思わせる心と人物の素描に出会い、新たな感慨が湧いてくるようでした。



親子三人(バキスタン)

先生は、よく緩やかな放物線の中に自然と人間の調和が見出せるとおっしゃいます。それは例えは千歳山のあの形なのだそうです。いつか出会った子供達との写生会で、緑の絵の具として雑草をそのまま塗った時の子供達の歓声が、自然を描くことへ開眼させてくれたのだそうです。またいつの日か古里の山や川、シルクロードの大自然の大展覧会を開催されることを楽しみにしております。

劇団300・渡辺えり子山形後援会発足に寄せて

わたしは原風景というのにとらわれる。ある山形出身の女流画家が描く世界は、木・樹である。時間的経過、想い出、未来、情念等々にカデフォルメされて、強いタッチの大作に、あるいはピリッとからい小品に表現されている。そこには幼い時の原風景が確として存在している。書くことにはいきづまると彼女の絵とにらめっこする。ふしぎにへそのあたりに力が入ってくるくせに、肩の力が抜けて、「うん」とひとり合点して立ちあがれる。渡辺えり子さんは劇団300を主宰し、劇作家、演出家、エッセイスト、TV、映画の出演、資質と山形という風土から生まれたもので書けるというそれであ

に活躍している。「ゲゲのげー達」魔が時に揺れる(第二回岸田国士戯曲賞受賞)「女の女」まだ見ぬからの手紙(第二回伊国屋演劇賞受賞)をあげるまでもないが、彼女が描く世界にも先の女流画家以上に、原風景が輝いている。「子供のころから見聞きしてきた事から一つ一つ光を当てて、つむいできた世界」と評すのは評論家の衛紀生氏である。

渡辺えり子さんが追及してきた「夢」「真実」「死」は「風の降る森」で一層広がって深まった。十月には山形で「1の1の6」を公演する。それに先立っての後援会結成であったが、「演劇は半分は観客がつくる」というが彼女と風土を同じくする者が共有する夢の翼を広げていきたいものである。(佐々木 悦)

このたび、「劇団300・渡辺えり子山形後援会」が発足した。七月四日の夜、山形市民会館で行われた山形後援会には、甲斐町にわたる山形市長を選び、囀鳴同窓会から多数参加した。彼女の歌とおしゃべりや、応援太鼓の音が会場を魅了したが、衛紀生氏が「渡辺えり子との出会い」の話の中で指摘していることは大きかった。資質と山形という風土から生まれたもので書けるというそれであ

おしらせ 山形市民会館内 山形市香住町2ノ9ノ45 023644213121 ☆劇団300山形公演のご案内 10月12日・13日・14日 山形市民会館大ホール

訪問者 青木智子 長岡玲子



平成元年度経常費決算

平成元年度維持会費納入状況

1. 収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 本年度決算額, 増減(△), 摘要. Rows include 入会費, 会費, 雑収入, 計.

2. 支出の部

(単位:円)

Table with 6 columns: 項目, 子算額(当初, 流用, 計), 決算額, 残額, 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 後援費, etc.

3. 差引残高

1,221,370円 (総収入) - 968,286円 (総支出) = 253,084円 (差引残高)

平成二年度経常費予算

1. 収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 前年度予算額, 本年度予算額, 増減(△), 摘要. Rows include 入会費, 会費, 雑収入, 計.

2. 支出の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 前年度予算額, 本年度予算額, 増減(△), 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 後援費, etc.

平成元年度基本金決算

I. 収入の部

- 1. 前年度繰越金 5,614,875円
2. 前年度経常費より 117,893円
3. 記念品代(返金) 87,500円
米寿 3,500円×5=17,500円
喜寿 2,000円×35=70,000円
4. 販売金 267,000円
5. 預金利子 163,765円
6. 総会残金 241,109円

6,492,142円

II. 支出の部

印刷費 602,550円

III. 差引残高

5,889,592円

Table showing membership fee collection status by district (区分), year (年), and class (クラス). Includes names of members and their respective districts.

計 308,000

Table listing names and positions of members, including 評議員 (Councilors) and 顧問 (Advisors).

Table listing names and positions of members, including 評議員 (Councilors) and 顧問 (Advisors).

Table listing names and positions of members, including 評議員 (Councilors) and 顧問 (Advisors).

評議員改選のおしらせ

以上の方々が平成元年11月5日の総会で承認されました。

編集後記

中庭に咲く美しい紫陽花の花も色あせ、今年もまた蒸し暑い山形の夏がやってきました。...

名簿発行のおしらせ

平成3年に同窓会名簿を新たに発行いたします。

今年初めて同窓会の事務局担当となり、会報発行にたずさわるとなりました。...

- 白田 伊織
武田 和恵
星 潤子
大竹 恵里
関野 和枝
栗野 紘子
高橋 美智子
村山 千代子
木村 洋子
江口 稔
庶務課長
同窓会員

(関野記)